

第 6 次 国 有 林 野 施 業 実 施 計 画 書 (案)

第 2 次 変 更 計 画
(変 更 部 分 の み)

(天 竜 森 林 計 画 区)

計 画 期 間
自 令 和 6 年 4 月 1 日
至 令 和 11 年 3 月 31 日

関 東 森 林 管 理 局

天竜森林計画区の第6次国有林野施業実施計画の変更について

【変更理由】

次の理由から国有林野管理経営規程（平成11年農林水産省訓令第2号）第14条第2項の規定に基づき変更するものである。

- 1 2（2）水源涵養タイプにおける施業群別面積等の伐期齢に誤謬があったため修正する。
- 2 森林施業の集約化を目的とした主伐及び間伐箇所を追加するため、2（4）「伐採総量」及び（5）「更新総量」を変更する。
- 3 新たに次代検定林を2か所設定したことから10 その他必要な事項（1）「施業指標林、試験地等」を変更する。

なお、本変更計画は、令和8年4月1日から適用する。

(2) 水源涵養^{かん}タイプにおける施業群別面積等

(単位：面積 ha、伐期齢 年)

施 業 群	細 分	面 積	取 扱 い の 内 容	伐期齢又は 回帰年
通常伐期	スギ分散伐区	132.69	森林の管理経営の指針による	50
	ヒノキ分散伐区	744.16	〃	60
長伐期	スギ長伐期	1,140.19	〃	90
	ヒノキ長伐期	1,908.34	〃	100
	カラマツ長伐期	15.12	〃	100
複層林	スギ複層林	811.24	〃	45～90
	ヒノキ複層林	2,026.38	〃	60～120
	その他の複層林	1,151.03	〃	60～100
天然林・ その他	ぼう芽分散伐区	13.52	〃	30
	択伐	3,996.19	〃	回帰年は定めない
	その他	222.90	〃	定めない
設 定 外 (注1)		397.64		定めない
合 計		12,559.39		

(注) 1. 施業群設定外は分収林、更新困難地等の特定の施業方法を設定することが適当でない林地とする。

2. 面積は林地面積を計上している。

(4) 伐採総量

(単位：m3)

区 分			林 地					林 地 以 外	合 計
			主 伐	間 伐	小 計	臨時伐採量	計		
山地災害防止タイプ			6,541	41,322 (321.01)	47,863				
自 然 維 持 タイプ			—	416 (3.48)	416				
森林空間利用タイプ			4,207	5,341 (52.27)	9,548				
水 源 涵 養 タ イ プ	通常伐期	スギ分散伐区	2,266	682 (5.07)	2,948				
		ヒノキ分散伐区	23,029	18,323 (189.32)	41,352				
	長伐期	スギ長伐期	—	33,204 (256.27)	33,204				
		ヒノキ長伐期	4,227	25,362 (204.76)	29,589				
	複層林	スギ複層林	2,591	18,816 (140.62)	21,407				
		ヒノキ複層林	15,370	35,617 (287.16)	50,987				
		その他複層林	1,446	394 (4.93)	1,840				
	天然林・その他	択 伐	—	5,067 (37.48)	5,067				
		そ の 他	—	354 (4.91)	354				
	設 定 外		108,135	1,214 (10.39)	109,349				
計		157,064	139,033 (1,140.91)	296,097					
合 計			167,812	186,112 (1,517.67)	353,924	16,600	370,524	—	370,524
年 平 均			33,916	38,459 (315.56)	72,315	3,320	75,635	—	75,635

(注) 1 () は、間伐面積(ha)である。

2 年平均欄は、従前の年平均に計画変更による伐採量の増減を残期間(年数)で除したものを加えて算出している。

(再 掲) 市町村別内訳

(単位：m3)

市 町 村 名	林 地					林 地 以 外	合 計
	主 伐	間 伐	小 計	臨時伐採量	計		
浜 松 市	<u>155,570</u>	<u>166,672</u>	<u>322,242</u>				
掛 川 市	<u>4,497</u>	<u>11,890</u>	<u>16,387</u>				
袋 井 市	944	<u>2,927</u>	<u>3,871</u>				
湖 西 市	4,265	1,886	6,151				
森 町	2,536	2,737	5,273				
合 計	<u>167,812</u>	<u>186,112</u>	<u>353,924</u>				

(注) 市町村別内訳には、臨時伐採量及び林地以外の土地に係る伐採量は含まない。

(5) 更新総量

(単位：ha)

区 分		山 地 災 害 防 止 タ イ プ	自 然 維 持 タ イ プ	森 林 空 間 利 用 タ イ プ	水 源 涵 養 タ イ プ	合 計
人 工 造 林	単 層 林 造 成	—	—	0.73	<u>223.11</u>	<u>223.84</u>
	複 層 林 造 成	<u>43.32</u>	—	<u>11.46</u>	<u>62.96</u>	<u>117.74</u>
	計	<u>43.32</u>	—	<u>12.19</u>	<u>286.07</u>	<u>341.58</u>
天 然 更 新	天 然 下 種 第 1 類	—	—	—	—	—
	天 然 下 種 第 2 類	—	—	—	—	—
	ば う 芽	—	—	—	18.92	18.92
	計	—	—	—	18.92	18.92
合 計		<u>43.32</u>	—	<u>12.19</u>	<u>304.99</u>	<u>360.50</u>

10 その他必要な事項

(1) 施業指標林、試験地等

種 類	名 称	設定年月	面 積 (ha)	位 置 (林小班)	備 考
試 験 地	大谷ヒノキ収穫試験地	昭和26年	2.24	82 ほ	収穫試験地
	都沢ヒノキ収穫試験地	昭和49年	1.85	812 ろ	収穫試験地
	天然林施業固定試験地	平成元年4月	8.40	795 は1、は2 は3	施業試験地
試験地計			12.49		
展 示 林	天然林施業展示林	昭和63年4月	3.07	334 ほ	
	複層林施業展示林	昭和63年4月	3.84	472 に1	
	天然林施業展示林	昭和63年4月	1.59	805 へ	
	スギ品種別施業展示林	昭和13年4月	0.24	844 ち	
	スギ品種別施業展示林	昭和13年4月	0.25	846 ほ	
	瀬尻スギ展示林	昭和23年4月	3.06	866 と	明治21年に植栽された 高齢スギ人工林
	スギ・ヒノキ品種別 展示林	平成6年4月	1.18	869 わ	
	間伐施業展示林	昭和63年4月	0.44	37 ろ2	
	天然林施業展示林	昭和63年4月	0.52	51 ち2	
展示林計			14.19		
次代検定林	一般次代検定林 (関 東 9 号)	昭和42年5月	0.25	207㍻2	スギ
	地域差検定林 (関 東 3 3 - 1 号)	昭和52年4月	0.32	837ち	スギ
	地域差検定林 (関 東 3 3 - 2 号)	昭和52年5月	0.11	833り	スギ
	一般次代検定林 (関 東 3 6 - 2 号)	昭和53年3月	0.43	208㍻2	ヒノキ
	一般次代検定林 (関 東 4 0 号)	昭和53年4月	1.70	863へ	ヒノキ
	地域差検定林 (関 東 7 6 号)	平成27年6月	0.32	839へ	スギ

種 類	名 称	設定年月	面 積 (ha)	位 置 (林小班)	備 考
	一般次代検定林 (関 東 8 7 号)	令和6年2月	0.10	843に	スギ
	一般次代検定林 (関 東 8 8 号)	令和6年2月	0.35	839～2	スギ
検定林計			3.58		
遺 伝 子 保 存 林	ア カ マ ツ	昭和42年11月	1.86	391い2	
	ス ギ	昭和47年4月	1.89	162に	
遺 伝 子 保 存 林 計			3.75		
精 英 樹 保 護 林	スギ気田1号	昭和33年	0.30	625に	
	スギ浜松1号	昭和36年	0.18	145は	
	ヒノキ浜松1号	昭和36年	0.15	60は	
	スギ気田105号	昭和42年	0.20	444る	
	ヒノキ水窪1号	昭和52年	0.20	853ほ	
	ヒノキ水窪2号	昭和52年	0.50	861ち	
精 英 樹 保 護 林 計			1.53		
合 計			35.54		